

平成25年4月14日執行

さくら市長選挙選挙公報

さくら市選挙管理委員会

市民の 市民による 市民のための 納得の行く 誠実な市政を！

当たり前すぎでしょうか？ でも、その当たり前が今ありますか？ これが本当の民主主義の原点だと思います。

立候補の動機・経緯

福島原発事故は我々の無関心が原因、子ども達に申し訳ないと強く反省。まず自分の町の政治を勉強。すると次々驚きの問題点が判明。これではいけないと、仲間と協力し市民活動。昨年の塩谷町長選挙では、見形現町長の応援演説するなど協力し市民運動が勝利。やれば出来た！住み良いさくら市を考える会の方と知り合い、どこにも同じ問題があると知る。今回、立候補する人が居ないと、強い要請を受け決断。

目指すものは徹底的な住民本位

○情報公開…先ず知ること。議会インターネット中継、情報開示の簡素化など他、皆さんからもアイデアを頂き検討しましょう。
○意思決定の透明化…お金の流れ、誰が判断したか、誰でもわかる仕組みを実現。
○市民参加の政治…参加しやすい仕組み、意見を出しやすい場作り、市民との対話を通じて、より納得の出来る政治をします。
○お金を掛けずにアイデアで…工場のQC活動のように、無駄の削減につながる市民の意見・提案には温泉クーポン券！

特に重視したい項目

○誠実な政治…誠実な教育レベルの高い人たちの居る町に企業は来ます。企業も人々からもアイデアを頂き検討しましょう。
○子育て教育…氏家の問題は皆さんの常識を破るアイデアも活用し、解決します。教育は専門、学力向上策は任せてください
○ハコモノでなく人材・新技術に資金を…ハコモノはバブルのようなもの、結局、子ども達が借金や維持費を背負う。投資した金が戻る使い方は、人材育成・技術開発です。
○老人の生きがい…お年寄りにも政治に参加・貢献いただきます。温泉クーポン券も。



大山まさとし
おおやままさとし
一九六一年三月一二日生
52歳

無所属

今こそ変えよう 明日の子ども達のために

なぜ転入者が？

最初、私もそう考えました。でも、外部の目でしか見えないものもある。しがらみのなさが変化を可能にする。もともと、選挙は本来の目的（住民の幸せ）をどれだけ実現

なぜ政治の素人が？

するかで判断すべきだと考えます。さらに、転入者だからという考え方もこれから、変えて行きたいですね。転入者も市長になれる、開かれた住み良いさくら市に、人が集まってくれると考えています。

学歴経歴

北海道大学大学院（工学修士）
青年海外協力隊ケニア理数科教師
(アフリカで現地中学校の先生)
神戸製鋼所 製造スタッフ・管理職
(KAALオーストラリア出向駐在) 等
現在 音読英語塾塩谷 代表
※9年前、自然のなかで子育て・セルフブランドするために真岡市から塩谷町に移住、さくら市に転入し、現在さくら市民です。



人見けんじ
ひとみけんじ
昭和22年6月2日生(65歳)

安全・安心と幸せ を実感できるさくら市へ

1 「子育て環境」「教育」「福祉」の拡充

- 児童医療費現物給付の拡充【3歳児未満⇒6歳児】
- 児童医療費無料化の拡充【中学3年⇒18歳】
- 地域密着型（小規模）特別養護老人ホームの新設
- 保育所待機児童〇の実現 ●障がい児学童保育の新設
- 小・中学校教室のエアコン設置 ●氏家中学校第2体育館の新設
- 乗合タクシーの拡充 ●見守り福祉ネットワークの拡充



3 「スポーツ」「文化芸術」の振興

- 多目的運動場の新設
- ミュージアム機能の拡充（収蔵庫新設）



4 「防災対策」の確立

- 小・中学校や行政区を通じた防災・減災のための市民意識の向上
- 氏家地区市街地における雨水排水対策の拡充
- 危険個所（道路・河川・山林）の再調査と対応
- 有事の際の対策本部の設置
- 関係機関との防災協定整備



5 「行財政改革」の推進

- 市民のニーズに対応した府内組織改革と職員数の適正化
- 企業誘致への取組み強化（財源確保・雇用創出）
- 事務事業の見直しと簡素化 ●市民協働のまちづくりの推進

ひとみ

さくら市長（現職）

2 「農業・商業・工業」「観光」の振興・活性化

- 日本三大美肌の湯“喜連川温泉”的活用（PR強化・送迎バスの運行）
- 地産地消、ブランド化による6次産業化の推進
- 放射能問題による風評被害対策の強化
- 市民参加による“桜の郷”づくりの推進
- 地元産業の育成と支援（融資）事業の拡充
- 氏家駅周辺の活性化推進
- 農・商・工の連携強化



2期目に向かって

まじめに、まっすぐに。人見けんじ



投票日 4月14日(日)

投票時間 午前7時～午後8時